

各位

2008年1月30日
東京都港区元赤坂一丁目5番8号
株式会社 W O W O W
代表取締役社長 和崎 信哉
(コード番号: 4839)

2008年度事業計画の概要及び2009～2011年度中期経営計画について

2008年度事業計画及び2009～2011年度中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

2011年に向けてのテレビ完全デジタル化と、普及が進む光ファイバーとIP等に関する技術の発展により、弊社を取り巻く環境は大きな変化を起こしつつあります。これまでの放送事業者が用いてきた電波の他に、映像コンテンツを市場に送る方法が多様化しようとしています。平行して、これらの状況に対応すべく通信・放送に関する総合的法体系の見直しが進んでおります。

これら、市場環境の変化へ積極的に対応していくため、大きな節目となる2011年に向けての計画が早期に必要と考えました。一方、2008年度は2006年5月24日に発表いたしました「2006～2008年度中期経営戦略」の最終年度にあたります。しかし、現状との乖離が明らかになってきました。そこで、2008年度についても早急な見直しを行い2011年につなげていくことが必要と判断いたしました。

詳細は別紙の通りです。

【問合せ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(5414)8090
(IR関係) IR 経理部 TEL03(5414)8191

2008 年度事業計画の概要について

2008 年度事業計画は、「2009～2011 年度中期経営計画」と基本方針を同一とした、連続性を持った年度計画として再構築しました。そのため、「2006～2008 年度中期経営戦略」の 2008 年度計画（以下、前回計画）とは、基本方針・戦略を変更いたしました。結果、計画数値にも差が出ております。

2008 年度は北京五輪開催に伴い地上デジタル放送移行のプロモーションなどにより、デジタル受信機普及の追い風が吹くと見ております。また、当社にとりましては、これまで加入者増の大きな推進力となってきました、もう一つの 4 年に一度のスポーツイベント「UEFA EURO 2008™ サッカー欧州選手権」が開催されます。これらの追い風に乗り、継続して番組強化を図り、積極的に加入推進に取り組んでまいります。

なお、配当予想を含めた 2008 年度事業計画の詳細は、5 月に予定しております 2007 年度決算発表時に発表する予定です。

加入計画

（単位：千件）

	2007 年度	2008 年度		
	見込	計画	前年差	前年比
加入件数（デジタルダブル除く）	2,370	2,390	20	100.8%
デジタル	1,374	1,710	336	124.5%
アナログ	996	680	316	68.3%
デジタルダブル	50	90	40	180.0%
総加入件数	2,420	2,480	60	102.5%

デジタルダブルは「同一契約者による 2 つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用

収支計画

< 連結 >

（単位：百万円）

	2007 年度	2008 年度		
	見込	計画	前年差	前年比
営業収益	65,100	66,000	900	101.4%
営業利益	4,100	2,000	2,100	48.8%
経常利益	4,700	2,100	2,600	44.7%
経常利益率	7.2%	3.2%	4.0%	44.4%
当期純利益	2,300	1,200	1,100	52.2%

< 単体 >

(単位 : 百万円)

	2007 年度	2008 年度		
	見込	計画	前年差	前年比
営業収益	61,200	62,600	1,400	102.3%
営業利益	3,000	1,300	1,700	43.3%
経常利益	3,400	1,300	2,100	38.2%
経常利益率	5.6%	2.1%	3.5%	37.5%
当期純利益	1,600	900	700	56.3%

前回計画との差異について

前回計画から、市場環境の変化に基づき、基本方針と戦略変更を行ったため、以下の通りの差が生じました。

加入計画は、新伝送路に関する市場環境の見直しと、番組強化の遅れ等による現在の加入者動向を勘案して設定し直しました。

収支計画は、上記加入計画の見直しによる視聴料収入の見直しと、会員ビジネスなど付帯事業の見直しを行い、設定し直しました。

< 連結 >

(単位 : 千件、百万円)

	2008 年度 前回計画	2008 年度 計画	前回差	前回比
加入件数	2,800	2,480	320	88.6%
営業収益	80,000	66,000	14,000	82.5%
経常利益	4,800	2,100	2,700	43.8%
経常利益率	6.0%	3.2%	2.8%	53.3%

(注) 2007 年度業績見込につきましては、本日発表の「業績予想の修正及び特別損失の計上について」を併せてご参照ください。

2009～2011年度中期経営計画について

2011年、放送の完全デジタル化と同時にWOWOWは20周年を迎えます。この計画は放送のデジタル化と平行して起きる環境変化を、放送市場とりわけ有料放送市場が成長するチャンスと捉え、その成長とともにWOWOWが成長するための戦略として描きました。

市場予測

(放送市場、有料放送市場予測)

	2006年度	2011年度	成長率
テレビ放送市場	3兆8,454億円	4兆3,435億円	113%
うち有料放送市場	7,061億円	9,195億円	130%
うちBS	641億円	925億円	144%
うちCS	2,370億円	3,870億円	163%
うちCATV	4,050億円	3,150億円	78%
うちIPTV等新伝送路	-	1,250億円	+1,250億円
テレビ放送市場に占める有料放送のシェア	18.4%	21.2%	115%

(2011年のメディア別、有料放送視聴可能世帯予測)

	2006年度	2011年度	成長率
有料放送全体	2,166万世帯	2,760万世帯	127%
うちBS	1,200万世帯	1,700万世帯	142%
うちCS	323万世帯	360万世帯	111%
うちCATV	643万世帯	500万世帯	78%
うちIPTV等新伝送路	-	200万世帯	-

中期経営計画数値

2011年度の計画数値は有料放送市場全体の約1割とします。

	2007年度 (見込)	2011年度計画	成長率	
加入件数	242万件	275万件 *1	114%	有料放送市場の約1割
売上	651億円	825億円	127%	有料放送市場の約1割
うち単体	612億円	700億円	114%	
経常利益率	7.2%	5% *2	-	

* 1：うち20万件はデジタルダブル契約

(デジタルダブルは「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで割引料金を適用)

* 2：経常利益率5%を維持しながら、コンテンツ強化を行う。

基本方針

2011年に向けてグループ企業全体をあげて経営資源を以下の3つの活動に集中させ

「No.1プレミアムペイチャンネル」としてのブランドを確立します。

1. 上質なコンテンツを確保し、産み出す
2. そのコンテンツの魅力を高めるサービスを強化し、コンテンツを活かす
3. 多様化する伝送路に対応してコンテンツをお届けする

基本方針に基づく4つの全社戦略

1. コンテンツ戦略（上質なコンテンツを確保し、産み出す戦略）

高利用率番組の定常化

映画の提示手法開発

- ・特集などの独自編成
- ・独占強化（契約、出資参加、自社製作による独占強化）

オリジナル番組開発

- ・ドラマW、シナリオ大賞の継続
- ・ドキュメンタリー等新ジャンルへの進出

プレゼンテーション手法の開発

- ・映像、音声等の制作技術力の高度化
- ・話題性を追求した番組選択と話題を創るプロモーション

2. メディア戦略（コンテンツを活かし、あらゆる時と場所に届ける戦略）

コンテンツの魅力を高めるためのサービスの拡大

- ・ハイビジョン複数チャンネル化
- ・VODサービスを加入者サービスとして位置づけ提供
- ・モバイル、インターネットでの独自サービスを開発

多様化する伝送路への対応

- ・BSデジタルへのアナログからのスムーズな移行
- ・CATV、CSでの同時再送信の維持
- ・IPTVでの同時再送信開始とVODサービスの提供

3. グループ経営戦略

コンテンツ戦略、メディア戦略をグループ全体で支えるために、グループ企業は次の4領域をカバーします。

コンテンツの調達、制作、販売に関する分野

放送サービスの強化に関する分野

BSプラットフォーム分野

有料放送の営業に関わる分野

4. ブランド戦略

すべての、戦略・活動を貫く根幹の判断基準としてブランド構築を置き、徹底した上質へのこだわりと、クリエイティブ管理を行います。

独自ブランド商品（映画、ドラマ）の継続開発

大規模イベントの定期的実施

20周年記念事業

社会貢献活動の取り組み

ブランド管理（徹底したクリエイティブ管理、定点調査の実施）

人材育成

加入計画

（単位：千件）

	2007年度	2008年度		2011年度	
	見込	計画	前年差	計画	2007年度差
加入件数(デジタルダブル除く)	2,370	2,390	20	2,550	180
デジタル	1,374	1,710	336	2,550	1,176
アナログ	996	680	316	0	996
デジタルダブル	50	90	40	200	150
総加入件数	2,420	2,480	60	2,750	330

デジタルダブルは「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用

収支計画

< 連結 >

（単位：百万円）

	2007年度	2008年度		2011年度	
	見込	計画	前年比	計画	2007年度比
営業収益	65,100	66,000	101.4%	82,500	126.7%
営業利益	4,100	2,000	48.8%	3,700	90.2%
経常利益	4,700	2,100	44.7%	4,100	87.2%
経常利益率	7.2%	3.2%	44.4%	5.0%	69.4%
当期純利益	2,300	1,200	52.2%	2,100	91.3%

< 単体 >

(単位 : 百万円)

	2007 年度	2008 年度		2011 年度	
	見込	計画	前年比	計画	2007 年度比
営業収益	61,200	62,600	102.3%	70,000	114.4%
営業利益	3,000	1,300	43.3%	3,100	103.3%
経常利益	3,400	1,300	38.2%	3,500	102.9%
経常利益率	5.6%	2.1%	37.5%	5.0%	89.3%
当期純利益	1,600	900	56.3%	1,700	106.3%

以上

(注) 以下の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。